

令和5年度「西多摩で働く人材を育てる産学連携事業」

連絡協議会(第2回)を開催しました

3月15日(金)、あきる野商工会を会場にして今年度2回目となる「西多摩で働く人材を育てる産学連携事業」連絡協議会を開きました。

この事業は、あきる野商工会と都立五日市高校、都立秋留台高校、都立多摩工業高校、都立多摩高校の4校が連携し西多摩で働く人材の育成を目的に平成30年にスタートしましたが、近年のコロナ禍により一時中断していました。その後、昨年8月に再開した連絡協議会において、西多摩地区にある他の商工会や商工会議所、学校へもこの取組を広げていくことが確認されました。それを受けた今回の連絡協議会では、あきる野商工会と本会事務局の呼びかけにより、多数のご参加をいただきました。

連絡協議会参加者

あきる野商工会事務局長	山口 純 氏	都立秋留台高等学校統括校長	中村 勝徳 氏
福生市商工会事務局長	山崎 秀樹 氏	都立多摩高等学校進路指導主任	宮崎 大一 氏
羽村市商工会事務局長	岩崎 哲二 氏	都立羽村高等学校校長	神谷 画歩 氏
瑞穂町商工会事務局長	海和 将也 氏	都立福生高等学校(定)進路指導主任	山田 賢 氏
日の出町商工会事務局長	川島 敏彦 氏	都立瑞穂農芸高等学校校長	大畑 哲也 氏
青梅商工会議所地域振興課長	細川 卓也 氏	都立青梅総合高等学校校長	川口 元三 氏
都立五日市高等学校副校長	花木 敦 氏	教育庁ものづくり教育推進担当課長	長谷 克己 氏
		東京都産業教育振興会事務局長	山川 樹林 氏

連絡協議会の概要

はじめに参加者の自己紹介に続き、本会常任理事である長谷 克己 東京都教育庁都立学校教育庁ものづくり教育推進担当課長から挨拶があり、事務局から本事業の趣旨やこれまでの経過について説明を行いました。その後、各商工会・商工会議所、各学校から産学連携の取組実績と次年度の取組予定について発表があり、貴重な情報交換の機会になりました。また、意見交換では、産業界からは地域の労働力・人材不足について、学校側からはインターンシップ先の確保などについての苦労が語られました。製造業が盛んであったり商業が活発であったり、それぞれの地域に特色があることから、地域を広げて連携することが重要であることを改めて実感しました。西多摩で働く人材を育てるために、産業界にとっても学校にとっても役に立つ実践的なプラットフォームとなるよう、継続的な連携を目指します。

